

令和4年度学校評価（教育活動診断より）

12月に実施した「教育活動診断アンケート」へのご協力、ありがとうございました。今年度はタブレット等を活用し、子どもと保護者の両者に協力していただきました。2月22日に「学校関係者評価委員会」を開催し、5名の委員の皆様とアンケートの分析（※）を行いました。

※分析については、教育活動診断アンケートの評価1（よくあてはまる）2（ややあてはまる）3（あまりあてはまらない）4（あてはまらない）とし、1と2を合わせた肯定的評価の数値を基に行っています。

全体的な傾向・特徴

児童の回答では、肯定的評価80%以上が21項目中11項目、70%以上が19項目でした。残りの2項目は読書についてです。昨年度に比べて、低評価の減り具合が大きくなっているのが気になるところです。一方、保護者の肯定的評価80%以上を示したのは19項目中8項目、70%以上が16項目、残りの3項目は読書、宿題、朝ごはんでした。昨年度に比べて肯定的な評価が増えました。

問①「学校が楽しい」問③「授業はわかりやすい」と感じている児童が9割近くいました。令和2年度西三河地方教育事務協議会からの委嘱を受け、子どもも先生も「やってみたい」と思う授業づくりに力を入れてきた成果であると思われます。また、コロナでの制限も緩和され、行事や授業参観等を工夫しながら実施できるようになったこともよかったと思います。今後も引き続き「楽しくて力のつく」学校をめざして努力していきます。

質問項目		R4	R3	R2
①学校はたのしい	児童	91%	87%	85%
	保護者	92%	82%	88%
③授業は、わかりやすい	児童	88%	85%	84%
	保護者	77%	63%	70%

右の項目は、児童相互、児童と教職員との関係に関わるものです。問⑥については、8割を切ってはいるものの、昨年度より評価が上がっています。問⑮でも高評価であります。問⑦に関しては年々評価が下がっているのが気になります。子どもたちが、長い間悩むことのないよう、さらに努力していきたいと思えます。

質問項目		R4	R3	R2
⑤こまったときに、相談できるともだちがいる。	児童	85%	88%	81%
	保護者	81%	77%	74%
⑥こまったときに、相談できる先生がいる。	児童	79%	74%	68%
	保護者	74%	73%	72%
⑦いやなことをいわれたり、されたりしたこと長い間なやむようなことは、なかった。	児童	71%	76%	77%
	保護者	79%	80%	81%
⑮先生たちは、あなたたちのことを思いやり、きちんと話を聞いたり話をしてくれたりしている。	児童	92%	93%	88%
	保護者	91%	87%	88%

質問項目		R4	R3	R2
②あいさつや返事が、よくできる。	児童	83% (学校)	77% (学校以外)	82%
	保護者		76% (家庭や地域)	68%
⑨読書がすきで、本をよくよんでいる。	児童	63% (学校)	61% (家)	72%
	保護者	47%		57%

本年度から問②問⑨については、学校と家での様子を分けて質問しました。問②あいさつについて、児童は学校では83%であるものの、学校以外では77%と低評価です。保護者も76%と8割を切ります。マスクをつける、大きな声で話さないという制限のある生活に慣れてしまい、元気よくあいさつをする意識が低くなってきているように思われます。学校と家庭、地域が一体となって、当たり前にあいさつのできる子どもたちにしていきたいと思えます。

問⑨の読書については、昨年度に比べ10%の減少、学校でも家でも数値が低いのが気になります。図書室が離れていること、読書タイムがなくなったこと、密を避けるための図書館利用に曜日制限があることなどが原因に挙げられます。来年度は曜日制限をなくし、読書時間を確保するため給食後や特別日課の際に読書タイムを設定するなどして、本に触れる機会を増やしていく予定です。

右頁の問④「宿題や提出物をわすれない」では、児童73%、保護者80%でした。宿題や提出物については、保護者に協力していただきたいところですが、子どもの連絡帳の記入忘れなどで宿題の内容や持ち物が分からないため、「宿題はやった?」「明日の用意は?」の声掛けのみになってしまい、さらに「やった」という子どもの返事でよしとしてしまう場合が多いようです。子どもたちが

宿題や提出物を忘れないようにしていきると同時に、保護者に協力していただけるよう宿題や持ち物が確実に伝わる工夫をしていきたいと思ひます

質問項目		R4	R3	R2
④宿題や提出物をわすれない	児童	73%	79%	78%
	保護者	80%	79%	82%
⑩「ふこうずっ子の家庭学習」に書かれている学習時間のめやすをまもっている。	児童	73%	79%	79%
	保護者	58%	67%	69%

問⑩「ふこうずっ子の家庭学習」

の時間のめやすを守って学習している児童が7割、保護者は6割を切り、年々数値が下がっています。学校では、子ども自身の興味・関心に基づいた自発的な学習ができるようにはげみ学習（自主学習）を取り入れています。家庭学習の必要性や自分で選ぶ学習内容の紹介など、子どもたちが意欲的に家庭学習に向かえるよう、工夫していきます。家庭での声掛けも引き続きをお願いします。

問⑪「早寝早起き」については、児童の数値が昨年度上がったものの、本年度は74%でした。保護者は年々下がり、71%です。早寝早起きは充実した学校生活の基礎であり、心身の健康及び成長にも大きくかわります。目安ではありますが、低学年9時、中学年は9時半、高学年は10時まで寝ることができるよう家庭で取り組んでいただけたらと思ひます。学校では、授業や保健日より等で睡眠の大事さを伝えていきます。

質問項目		R4	R3	R2
⑪早寝早起きを守って健康な生活をしている。	児童	74%	80%	72%
	保護者	71%	88%	91%
⑫しっかり朝ごはんを守って健康な生活をしている。	児童	89%	92%	87%
	保護者	59%	62%	65%

問⑫の児童は、昨年度減ではあるものの9割近くの児童が朝ごはんを食べてきています。また、朝の時間のない中、6割の保護者が栄養のバランスを考えた朝食を準備して下さっていることに感謝します。朝ごはんは、午前の活力になります。集中力も増すとされています。どうか毎日朝ごはんを食べて学校に来ることができるようお願いします。

問⑬問⑭は、「自己有用感」や「自己肯定感」についてです。問⑭の児童は昨年度減ではあるものの9割近い数値です。問⑬問⑭の児童が8割以上の高評価に対し、保護者は8割を切り、そのずれが気になります。自己有用感も自己肯定感も周りが自分を認めてくれたことで身に付くものです。どうか、家でも結果だけでなく、その努力や経過を認めてあげてください。子どもにとって保護者から褒めてもらうことが、一番のご褒美だと思ひます。

質問項目		R4	R3	R2
⑬ともだちや家そくのやくにたつように、自分にできることをすすんでやっている	児童	82%	81%	78%
	保護者	75%	77%	78%
⑭いっしょうけんめいがんばって、勉強や運動をしてよかったと思ひたことはありますか。	児童	89%	92%	87%
	保護者	77%	74%	77%

最後に、保護者質問で高評価をいただいた項目です。コロナの状況により工夫しながらの授業参観や行事の実施、校外学習の復活がよかったのだと思ひます。本年度4年生が総合的な学習で防災に取り組み、町の防災安全課の方をお招きして学習しました。家庭でも話題になったようです。今後も積極的に地域の講師をお招きして学習していきたいと思ひます。

保護者 質問項目	R4	R3	R2
⑮学校は、通信やホームページ、授業参観や行事等を通して、学校の方針や児童の様子がよく分かるよう広報し、開かれた学校づくりに努めている。	86%	77%	80%
⑯学校は、地域の教育力を活用し、自然や人材を生かした教育活動を工夫している。	79%	77%	76%
⑰学校は、地域と連携し、積極的に地震災害に対する防災教育に取り組んでいる。	85%	81%	88%
⑱学校は、安全・安心な環境の整備に努めている。	93%	87%	92%

今後に向けて

紙面の都合上、すべての項目について紹介はできておりませんがご了承ください。ご協力ありがとうございました。

今回のアンケート結果を真摯に受け止め、今後の学校・学級経営に生かしていきたいと思ひます。また、学区コミュニティやPTA、同窓会等からも意見や協力をいただきながら、深溝小学校の児童が健やかに成長していけるよう努めていきたいと思ひます。